

訃 報

——謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

滝田 和彦 殿(経営工学)

令和3年7月19日逝去 87歳

花田 真吉 殿(建設/総合技術監理)

令和4年1月14日逝去 76歳

■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

2022 年が幕を開けました。年頭所感でもご紹介のあるように、今年の干支は壬寅、冬が厳しいほど、春には華々しく生まれ変わると言われているようです。◆依然として新型コロナへの対応が続いており、あらゆる施設の入り口では手指消毒・検温などは習慣化し、無意識にやっているようにも思います。また、マスク着用に至っては「顔パンツ」との呼び名もあるようで、習慣化を通り越して常識が変わっていくのかもしれませんが。今号での各投稿記事においても、コロナ禍に負けず感染予防対策に留意しながら実施された活動内容が多数紹介されています。最近はおミクロン株の猛威を受けて、中止を余儀なくされるイベントもありますが、リアルとWEBのハイブリッド開催などは広く普及されてきており、コロナ禍終息後にも一般化しているとよいなと思います。◆年明けの札幌では記録的な大雪により、各種交通機関に影響が出ており、メディアからは苦情やぼやきが聞こえてきます。生活道路の除排雪もままならず、道路脇の雪山がどんどん高くなっていくと不安になりますが、高く積んだ庭の雪山が物置の屋根に届きそうになっているのに気付き、幼少期によく登ったり飛びこんだりして遊んだなど懐かしい気分になりました。雪が多いのは大変ですが誰のせいでもない諦めて、コロナ禍での運動不足解消法として考え直してみようと思います。雪が多いほど、春には筋力アップしてるはずと信じて。

第156号編集担当 熊谷 幹也